

報道関係各位

LPI-J No. 20220706

2022年7月6日

特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

**LPI-Japan が扱う Kubernetes 技術者認定の試験と学習教材の半額キャンペーンを
7月6日より実施！**

**～ クラウド・DX時代のLinux技術者認定「LinuC（リナック）」との連携によりクラウド
ネイティブ技術者の育成支援を強化 ～**



オープンテクノロジー技術者認定機関としてLinux技術者認定「LinuC（リナック）（注1）」などを実施する特定非営利活動法人エルピーアイジャパン（以下：LPI-Japan、東京都千代田区、理事長 鈴木 敦夫、<https://lpi.or.jp>）は、この度、The Linux Foundation（注2）の「Kubernetes and Cloud Native Associate (KCNA)」の試験（以下：KCNA試験）および日本語版 e-Learning 教材の

販売を7月6日より開始し、日本でのクラウドネイティブ技術者の拡大と学習環境の整備を推進することを発表します。

また、取扱い開始を記念して、2022年7月6日（水）～8月5日（金）の一か月間に限り、LPI-Japan が扱う Kubernetes 関連の各試験と e-Learning 教材を全て「半額」にて販売します。

多くの企業が DX（デジタルトランスフォーメーション）を進める中、コンテナ仮想化技術の導入が世界規模で拡大しています。国内においてもコンテナ仮想化技術は普及期に突入したと言われていますが、諸外国に比べるとクラウドネイティブ技術者の不足は否めません。

LPI-Japan は、“クラウド時代の OS”とも言われる「Kubernetes」（注3）について、2021年より「認定 Kubernetes 管理者（CKA-JP）」「認定 Kubernetes アプリケーション開発者（CKAD-JP）」「認定 Kubernetes セキュリティスペシャリスト（CKS-JP）」の3つの認定試験を提供してきましたが、日本でのクラウドネイティブ技術者の拡大と学習環境の整備をさらに強化するために、KCNA試験とその e-Learning 教材の販売を新たに開始します。

また、2022年7月6日（水）～8月5日（金）の一か月間に限り、LPI-Japan が扱う Kubernetes 関連の各試験と e-Learning 教材を全て「半額」にて販売します。販売価格は販売ページ（<https://k8s.stores.jp/>）をご覧ください。

KCNA 試験は、Kubernetes と広範なクラウドネイティブエコシステムの基本知識があることを証明できる認定試験です。クラウドネイティブ技術とコンテナ オーケストレーションの世界に初めて触れる開発者および開発志望者、管理者、アーキテクト、マネージャーを対象としています。

- ・ KCNA 試験の概要/受験申込方法 <https://lpi.or.jp/k8s/exam/>
- ・ KCNA 学習教材の概要 <https://lpi.or.jp/k8s/training/>
- ・ 試験・e-Learning 教材の半額でのご購入：<https://k8s.stores.jp/>

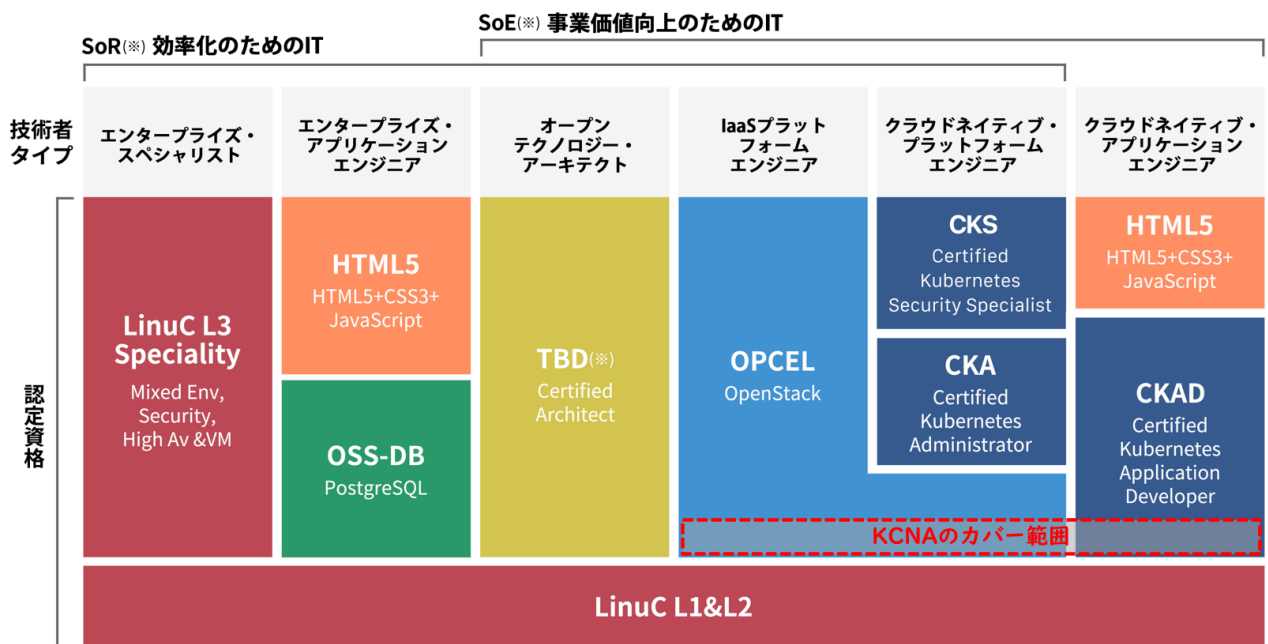
LPI-Japan は、IT 技術者の本質的な技術力を育むための指針として「オープンテクノロジーのキャリアマップ」（図 1）を策定しています。IT 技術者のタイプごとに認定資格を定義しており、Kubernetes はクラウドネイティブ技術者にとって重要なスキルの一つとして位置づけています。

「LinuC」（リナック）の出題範囲にはクラウドネイティブ技術の仕組みを学ぶために必要な知識が含まれています。Kubernetes の技術を学ぶためには、「LinuC」（リナック）の出題範囲に含まれる Linux システムや、仮想化・コンテナ技術をはじめとしたクラウド技術を含めたコンピュータアーキテクチャについての理解が欠かせません。あらかじめクラウドネイティブ技術やそれを支える仕組みについても大まかに把握しておくことが望まれます。

今回提供が開始される KCNA 試験と e-Learning 教材はこの部分を補う役割を果たすもの（図 1 の「KCNA のカバー範囲」）となります。

さらに CKA 認定、CKAD 認定、CKS 認定（注 4）を取得することにより、価値の高いクラウドネイティブ技術者となることが可能です。

図 1) オープンテクノロジーのキャリアマップ



※SoR: System of Records, SoE: System of Engagement, TBD: To Be Determined

注1) LinuC (リナック) について

クラウド・DX時代に必須のLinux知識とスキルを持つ即戦力エンジニアであることを証明するLinux技術者認定試験です。企業で活躍する約45名のトップエンジニアの協力のもと開発されているため、システム開発や運用の現場で本当に役立つ知識が出題されています。また、大手ITベンダーをはじめとする多くの企業で人材育成の指針として標準採用されています。

<https://linuc.org/>

LinuCはピアソンVUEより日本を含む全世界にて日本語、英語にて配信され、日本国内外のテストセンターに加えて、自宅・職場からのオンラインでの受験も可能です。ピアソンVUEの試験予約サイトは、下記をご覧ください。

<https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/Linuc.aspx>

注2) The Linux Foundation について

2000年に創設されたThe Linux Foundationは、Linux創始者のLinus Torvaldsが所属する機関であり、Linuxカーネルの開発活動を保護・促進できる中立な団体として、資金援助、知的資源、インフラ、サービス、イベント、トレーニングなどを通じ、オープンソースコミュニティへの比類ない支援を提供しています。LPI-Japanは、同団体の初の【Authorized Certification Partner】として、共に認定を通じたクラウドネイティブ技術者の育成を推進しています。

<https://www.linuxfoundation.jp/>

注3) Kubernetes について

Kubernetesはクラウドを含めた仮想空間におけるオペレーティングシステムのような機能を果たします。多くのパブリッククラウドがKubernetesのマネージドサービスを提供し、ベンダーのサービスと連携した使いやすい機能を提供しており、Kubernetesは業界のグローバルデファクトスタンダードとなっています。

注4) CKA 認定、CKAD 認定、CKS 認定について

<https://lpi.or.jp/k8s/exam/> をご参照ください。

【登録商標】

記載されている団体名・試験名の固有名詞およびロゴ等の知的所有権は各所有団体に帰属、もしくはLPI-Japanが利用許諾を受けた商標または登録商標です。

●報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局

TEL : 03-6205-7025 / E-mail : press@lpi.or.jp

LPI-Japan について

LPI-Japan は、日本での Linux の技術力認定試験の普及と IT プロフェッショナルの育成のため 2000 年 7 月に設立され、現在は対象を広げ OSS のデータベースソフトウェア、クラウドソフトウェア、および HTML5 のプロフェッショナルのための認定試験を実施する NPO 法人です。

LPI-Japan は、オープンテクノロジーの分野で IT プロフェッショナルの技術力の認定制度を中立公正な立場で公平かつ厳正に運営することを通じて、IT プロフェッショナルの育成と活躍、さらにはオープンテクノロジーに関連するビジネスの促進に寄与する活動を展開しています。

●LPI-Japan の概要 (<https://lpi.or.jp>)

法人名： 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

所在地： 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 9 階

連絡先： TEL : 03-6205-7025、e-mail : info@lpi.or.jp

設立： 2000 年 (平成 12 年) 7 月 28 日

ミッション： オープンテクノロジーの技術者認定試験の実施を通して、IT プロフェッショナルの育成と価値向上、活躍を支援し、社会に貢献すること

業務内容： IT プロフェッショナルの認定活動を通じた技術者育成と OSS/HTML5 等のオープンテクノロジーの普及・推進

理事長： 鈴木 敦夫

理事： 菅沼 公夫 日本電気株式会社
中野 正彦 サイバートラスト株式会社
片桐 和宣 株式会社日立製作所
松下 文男 富士通株式会社
丸茂 晴晃

監事： 寺本 振透 九州大学 大学院法学研究院教授

LPI-Japan プラチナスポンサー：

下記 URL の「LPI-Japan プラチナスポンサー」は、LPI-Japan の活動に賛同・支援しオープンテクノロジー人材の育成や市場の活性化に深く貢献している企業/団体です。

<https://lpi.or.jp/sponsor/list/>

LPI-Japan ビジネスパートナー：

下記 URL の「LPI-Japan ビジネスパートナー」は、Linux/OSS などの技術者認定を通じて本質的技術者を育成し活躍の場を広げることでオープンテクノロジーを活用したビジネスの拡大に積極的に貢献する取り組みをしている企業です。

<https://lpi.or.jp/bp/list/>

LPI-Japan アカデミック認定校 :

下記 URL の「LPI-Japan アカデミック認定校」は、LPI-Japan が独自に定めた学習環境基準をクリアし、認定試験の合格を目指す受験者に質の高い教育を提供できる研修機関/学校です。

LinuC : <https://lpi.or.jp/school/list/>

OSS-DB : <https://oss-db.jp/learning#academic>

HTML5 : <https://html5exam.jp/measures/learning.html>

OPCEL : <https://opcel.org/training>

LPI-Japan 認定教材 (LATM) :

下記 URL の「LPI-Japan 認定教材 (LATM)」は、出題範囲に添って作成された教材として、LPI-Japan が認定した教材です。

<https://lpi.or.jp/linuc1/book.shtml>

<https://lpi.or.jp/linuc2/book.shtml>